

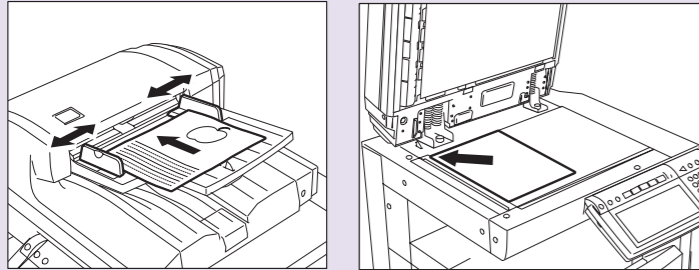
簡単なファクシミリの送り方

1 ファクシミリモードに切替えます

操作パネルの ボタンを押してファクス機能を選択します

2 原稿をセットします

自動原稿送り装置を利用する場合 (中央合わせ)      原稿台を利用する場合 (左奥コーナー合わせ)



3 宛先を指定します

[1] 番号入力  
操作パネル上のテンキーで相手先のファクシミリ番号を入力します。入力間違いをした場合、操作パネル上の [クリア] ボタンを押すか、アドレス帳画面の [バックスペース] ボタンを押して、修正します

[クリア]      入力中の宛先のクリア  
[バックスペース]      入力した直前の1文字のクリア

補足  
構内交換機を経由して外線にダイヤルする時、0発進した後、外線に繋がるまで多少時間がかかるため、送信エラーが発生する場合があります。このような時は、0の後に [オンフック/ポーズ] ボタンを押して、ポーズを入力します。

[2] アドレス帳から入力

宛先名右の [ファクス] ボタンを押します (アドレス帳にEメールのみ登録されている場合は、[ファクス] ボタンは表示されません) 宛先を間違えた場合、もう一度押し、反転表示を解除して、再度指定します。次頁ボタンで画面を切替えて指定することもできます

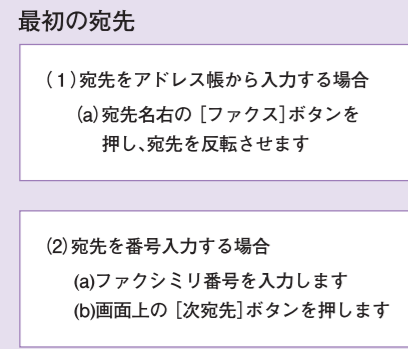


4 宛先指定終了後、スタートボタンを押します

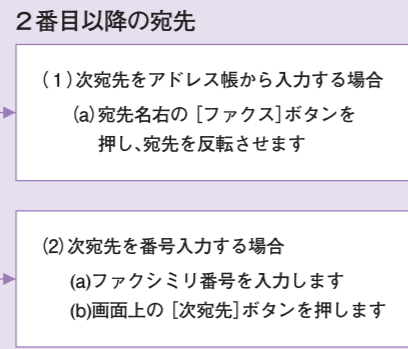
複数宛先の指定の方法

1 個別に指定する場合

[1] 最初の宛先を入力します  
[2] 次の宛先を入力します



[3] 下記の流れ図に従って、次以降の宛先を入力します  
[4] 全宛先を指定後、スタートボタンを押します



2 グループ登録から削除する場合

[1] アドレス指定画面の右にある [グループ一覧] ボタンを押します



[2] 表示されている宛先グループを指定し、スタートボタンを押します



送信条件の設定の方法

送信条件は必要に応じて変更して下さい

1 送信条件設定画面を出します

アドレス帳画面の [付加機能] ボタンを押します



2 送信条件設定を設定します

解像度      送信画像のきめ細かさを設定します  
モード      送信画像の種類を設定します  
濃度調整      送信画像の濃度を設定します  
送信方法      送信時のメモリ利用を設定します  
原稿サイズ      ガラス面から用紙サイズを指定してファクシミリを送信する場合、変更します



ECM      エラー訂正を設定します (通常はONのまま使用します)  
海外指定      回線品質の悪い地域へ、通信速度を落として通信します  
回線指定      回線を増設している場合、回線 (1/2) を選択できます  
SUB/SEP      Fコード対応機種とサブアドレスを付加して通信する際に指定します  
SID/PWD      internet FAX送信時にタイトルと本文を追加します



3 設定ボタンを押して、アドレス帳画面に戻ります

送信条件設定の注意事項

- [1] 各宛先のワンタッチボタンごとに送信条件を登録できます
- [2] 複数宛先を指定した場合は、宛先ごとの送信条件は反映されません。手動で変更してください
- [3] 解像度設定は、受信局側が同じ解像度に対応している必要があります  
[普通] 200dpi×100dpi  
[精細] 200dpi×200dpi  
[高精細] 400dpi×400dpi

機能一覧(ファクシミリ)

応 用	取扱説明書参照ページ
両面原稿送信	→FAX編 P70
優先送信	→FAX編 P72
ポーリング送信	→FAX編 P73
ポーリング受信	→FAX編 P74
Fコード	→FAX編 P75
Fコードリスト(印刷)	→FAX編 P86
チェーンダイヤル	→FAX編 P89
時刻指定送信	→FAX編 P90
復活送信	→FAX編 P92
手動受信	→FAX編 P92

用語解説

- ・ポーリング  
受信側の要求により、送信側の原稿を受信する機能です。送信側は自局に原稿を登録し、受信側から発呼して、データを受信します
- ・Fコード  
あらかじめ開設された箱(メールボックス)を使用して原稿の登録・取り出しを行います。ただし通信相手先もFコード対応機である必要があります
- ・復活送信  
規定回数のリダイヤルをしても原稿を送れなかった時、番号を修正の上、メモリ内のデータから再度送信を行う機能です。事前に、「復活送信の設定」を行う必要があります